

# 令和5年度 園自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年3月31日

学校法人 吉祥学園  
認定こども園 水沢こども園

## 1. 本園の理念、教育・保育目標、教育・保育方針

○理念 たくさんの経験、活動を通し、他を思いやる気持ちを育て、又、ひとりひとりがより良く強く生きる力、意志を持つように育てる

○教育・保育目標

- ・じょうぶな子…健康で明るく元気なたくましい子を育てます
- ・がんばる子…遊びに意欲をもって取り組み、試したり工夫したりしながら、最後までやり通す力を育てます
- ・やさしい子…友達との遊びの中で様々な体験をし、思いやりと豊かな感性を持つ子を育てます

○教育・保育方針

- 1 発達段階に応じた環境を整え、興味や関心を広げ、心情、意欲、態度等生きる力の根底となるものを育て、就学に接続し小1プロブレム等が生じないようにしていきます
- 2 家庭と連携し、保護者の家庭での養育力の向上を支援します
- 3 専門性を生かして、教育と保育の一体的なあり方を実現します
- 4 地域の人と共に子育て支援を実施します

## 2. 本年度の重点的な目標・計画

「保育の質を高める」

3歳以上児職員：テーマ「質の向上につながるICT保育の導入の仕方について学ぶ」

3歳未満児職員：テーマ「安心・安全な保育を目指して～一人一人の意識を高める～」

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

|   | 評価項目                                       | 評価 | 取り組み状況   |
|---|--|----|--|
| 1 | 「保育の質を高める」                                 | A  | ・ICTの導入を見据えながら保育の質の向上について考えていく。<br>・安心・安全な保育環境の構成について、職員一人一人の意識を高めていく。   |
| 2 | 3歳以上児職員<br>テーマ「質の向上につながるICT保育の導入の仕方について学ぶ」 | A  | 3歳以上児<br>・ICTについての研究の進め方について話し合いをする<br>・個々にICT化のイメージを持参し話し合いをする<br>・ICTについての資料を基に共通理解を図る（幼児教育・保育における情報機器の活用）<br>・ICTについて研修を受け職員間での共通理解を図る（研修後本園での取り入れ方について話し合う）<br>・ICTについての資料を基に共通理解を図る（ICTを活用した学びの場について）<br>・ICTについての資料を基に共通理解を図る（情報モラルについて）<br>・ICTについての資料を基に共通理解を図る（ICT活用園マップ）<br>・ICTの資料、6月の資料を基に話し合いを行い研修の振り返りをする（業務負担の軽減について） |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p>3歳未満児職員</p> <p>テーマ「安心・安全な保育を目指して<br/>～職員一人一人の意識を高める」</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果と課題について話し合いを行う</li> <li>・先月話し合った内容についてまとめた資料を基に話し合いを行う<br/>また、研修で学んだことについて話し合う（まとめ）</li> </ul> <p>3歳未満児</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児・気になる子ども・アレルギーのある子どもへの共通理解</li> <li>・普通救命講習に参加した職員からの申し送り</li> <li>・個人面談の報告と、それをふまえて今後の保育の進め方について話し合う</li> <li>・熱中症対策について</li> <li>・水遊びの際の事故防止、安全な環境づくりについて</li> <li>・危険予測のトレーニング（プール）</li> <li>・災害の備えと危機管理について</li> <li>・冬の戸外遊び・雪遊びの際の安全対策について</li> <li>・感染症対策・嘔吐処理について</li> </ul> |
|--|---|---|---|

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

#### 4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理 由  |
|----|--|
| A  | <p>&lt;成果と課題&gt;</p> <p>○次年度から業務のICT化を進めていくにあたり、ICT化することによるメリット・デメリットについて職員間で共通理解を図ることができた。また、ICT化により業務を効率化させることで、質の高い保育や子どもに対するより丁寧なかかわりの実現についても話し合い、共通理解を深めることができた。</p> <p>○子どもの命を預かる上で安心・安全な環境を整えることは当然のことである。持続的にその環境を整えていくため研修を活かしながら、改善点があれば改善していこうという視点を高め合うことができた。</p> <p>○ICT化を取り入れてから見えてくる課題もあると思う。保育を第一に考えながらうまく軌道に乗るよう取り組んでいくことが必要である。</p> |

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

#### 5. 今後取り組むべき課題

保育業務をICT化していくことと同時に、保育の質を向上させていくことにも取り組んでいくことが必要である。

安心・安全な環境については、引き続き情報をアップデートしながら保育現場に活かしていくようにする。

また、保育の捉え直しを行ない、子ども達が次世代に必要な力を身に付けていけるための保育のあり方を学んでいくことが必要である。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

- ① 園自己評価の結果の内容は適切である。  
園評価の結果を踏まえた今後の改善方策は適切である。  
重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等は適切である。  
学校運営の改善に向けた取組も適切である。
- ② 適切に評価されています。
- ③ 適切に評価されています。
- ④ 適正に学校運営等がなされてると思われます。